

Q: トイレに行こうというと「3歳になったら」と言う。本人のやる気が出るまで待つほうがいい？（2歳11か月）

A: トイレを始めるポイントとして「一人で上手に歩ける」「簡単な受け答えができる」「おしっこの間隔が2～3時間あく」個人差があると思いますが最近では2歳半くらいから始められるお母さんが多いかなと思います。また、声をかけるタイミングも重要です。トイレトレーニングを始めたすぐは声をかけてもトイレに行けることは少ないと思います。特に、夢中になって遊んでいる時や眠い時などは子どもに声は届きません。基本は行けなくて当然！行けたらラッキー！！と思い、朝や昼寝などの寝起きのタイミング、お風呂前や出かける前などに、できてもできなくても習慣として声をかけるのもよいと思います。まずは誘ったらトイレに行くことができる→トイレに座ることができる→トイレでおしっこが出る。というようにスモールステップでチャレンジしましょう。というのが基本的な取り組み方です。

2歳半ごろになると自我も芽生え、いろんな感情も出てきます。ことばもその場だけで言うことも多々あります。「3歳になったら」とうまくかわしているのも、「そうだね！そうしよう！」と気持ちを受け止め、過ごしていきつつ、お母さんがトイレに行くときに「行ってくるね。」「トイレの前で待っててよ」など一緒に行動したり、おむつの中でも「出たら教えてね！」おむつを替えるのをトイレにするなど、準備をしておくともよいですね。3歳まであと1か月ですがあまり約束にこだわらず、夏が近づきトイレトレーニングを始めやすい季節なので、気を楽しんでチャレンジしてみましょ。成功した時は「おしっこでたね！すごい、すごい」とオーバーリアクションと一緒に喜んでください。子どものやる気はもちろん大切ですが、やる気になるように働きかけることも大切です。

Q: 落ち着きがない。（2歳7か月）

落ち着きがなく、なかなかその場で止まっていることができない。（3歳児1か月）

A: 3歳前後は冒険の時期でいろいろやってみたいことでいっぱいです。それと共に周りのルールも分かってきて少しずつ守ることもできるようになってきます。しかし、まだまだ未熟で好奇心が勝ってしまったり、良く動けるようになった身体を使ってみなくなったりします。大人は年齢が来れば順番も分かるし、じっと待つこともできるようになると思ってしまうのですが、子どもたちはいろんな性格、環境がありその中で一生懸命育っているのです。まだまだじっとしてられない部分があることを思っ、子どもがどんなことに興味を持っているのかどんな遊びをしているのか注意してみましょ。子どもがおもちゃや人とかかわって遊べる時間を意図的に作って、親もかかわっていくことが大切だと思います。

Q: 癩癩がすごく、落ち着かせるため要望に応えるがキリがない。

「これはなに？」と聞かれて答えると「違う！」と泣き出してしま。う。（3歳1か月）

A: この時期、自分でやりたいし、できると思っているのにできない。気持ちをことばで伝えられないなどいろいろもどかしさを抱えながら過ごしていると思っ、てください。3歳になって、なんでも「いや！」「違う！」という時期があります。子どもに

強い意志が芽生えてきた証拠なので、あまり正面からぶつからないようにして、聞き流すくらいがちょうどよいと思います。こちらが決めつけず、子どもにどちらかを選ばせることも一つです。普段、できるようになったことや、上手になったことを口に出して伝えてあげたり、励ましの言葉を掛けてあげることも大切です。

痲癩は思うようにならないからだと思いますが、要望を聞くというよりもまずは大人が深呼吸して落ち着いて、諦められるように子どもの目を見つめて語りかけてみましょう。